平成28年度　大阪府立岬高等学校　第３回学校協議会　議事録

平成29年３月３日（金）午後３時～

於　岬高等学校　校長室

出席者　【委員】見先　梅川　松本　西本　大浦　（敬称略）

　　　　【岬高校】校長　教頭（２名）　事務長　首席　指導養護教諭

　　　　　　　　　教務主任　進路指導主事　生徒指導主事　国際交流委員長

特別支援コーディネーター　総務部主任　山海人委員長

１．【学校長挨拶】（要旨）

　・エンパワメントスクール１年目がスタートし、残すところわずかとなりました。２月20日に特別入学者選抜

が行われ、210名の合格者を決定しました。在校生は学年末考査期間中で進級に向けて頑張っているところで

す。３年生は205名の卒業者を決定し、３月８日に卒業式を行う運びになっています。

今日は今年度の学校経営をまとめて、来年度へ向けて、ご意見を頂戴できればと考えています。

　①校長より、学校協議会委員の皆さんの紹介

　②事務局、参加者（教員）の自己紹介

③教頭より、報告事項の説明

２．【報告事項】

　①平成28年度学校経営計画及び学校評価について

　〇校長より

　　Ｐ５のめざす学校像、中期的目標ということで、これにつきましては第１回の時に説明させていただきました。

　　Ｐ６の「３ 本年度の取組内容及び自己評価」の主に自己評価に沿って説明させていただきます。まず、エンパワメントスクール開きと教育内容の確立ということですが、学校教育自己診断において、「モジュール授業がよくわかる」や「エンパワメントタイムに関する項目」の肯定的な意見の割合を70％以上とするという評価指標を掲げてスタートしましたが、「国数英の授業は毎日30分あるので、学力がつくと思う」の肯定的回答は59.4％、「エンパワメントタイムは将来、社会人として生きていくための力が付く授業だと思う」の肯定的回答は44.4％ということで、目標の70％には届きませんでした。当初の目標としては３人に２人くらいは肯定的な評価を持ってくれるかなと考えていましたが、結果こういう数値になっています。昨年度のデータがありませんので、比較ができませんが、初年度達成する目標としては高かったのかなと思っています。来年度はこの目標に近づくようには上げていきたいと考えています。続きまして、学習活動の充実ということで、「わかる授業」「楽しい授業」をめざし、首席中心に授業改善の取組みを今年度積極的に進めまして、小学校にも授業を見せてもらいに行ったりと、いろいろ勉強させていただきました。その結果、「授業展開」の項目において、平均が3.13ありました。目標としては４段階中の3.07以上でしたので、目標達成していると思います。「生徒意識１」「生徒意識２」については平均が3.0以上にするが目標でしたが、「生徒意識１」は2.98、「生徒意識２」は3.01ということで、概ね達成しているかと思います。来年度引き続き「わかる授業」づくりには取組み、この数値も上げて、生徒には授業がためになったと思ってもらえるようにしていきたいと考えています。来年度はぜひ中学校の方でも勉強させていただけたらと思っております。特別活動の充実について、全員参加型行事の事後アンケートにおける肯定意見を70％以上にするということでスタートしています。体育祭と山海人プロジェクトにつきましては、70％以上と達成していますが、文化祭が55％ということで、なかなか文化祭の肯定的評価に繋がっていないということで、来年度は文化祭の中身も考えていきたいと思います。希望者参加型行事は、オーストラリアの高校とのテレビ会議、台湾研修を予定していました。テレビ会議は向こうの学校との調整ができず、実施できませんでした。台湾研修には３名の生徒が参加しまして、非常に肯定的な意見を書いていただいています。キャリア教育の充実について、生徒指導に対する生徒の否定的な意見は58.9％とまだまだ多い状態です。ただ、指導に対する生徒の気持ちは肯定的ではありませんが、それを指導している先生方に対する評価というのは肯定的な意見は増加しているかと見ています。また、保護者の肯定的な意見は非常に増加しておりまして、学校教育に対して、ご理解いただいているのかと考えています。ご家庭とも連携しながら、引き続き粘り強くやっていき、生徒の否定的な意見もそう遠くない将来に減っていくのではないかと考えています。人権を大切にするための学習につきましては、55％以上に肯定的な意見を持っていきたかったのですが、結果は50.3％でした。本校では人権的な取組みも多く行っていますが、その都度、生徒にこれが人権的な取組みと印象づけてやっておらず、生徒の認識につながっていないのではないかと考えています。そのあたりは、生徒に認識させる工夫を考えていきます。

　　Ｐ７のキャリア教育の充実の望ましい職業観の育成と進路実現のところです。卒業時における進路未決定者は12月16日時点では74人でしたが、本日の時点では22人ということで、後で進路指導部の方から説明してもらいます。各種検定への参加者は延べ435人ということで、大幅に目標を上回っている状況です。インクルーシブ教育のさらなる展開ということで、高校生活支援カードの提出率は100％の目標を達成しています。また、今年度新たに１名の個別の教育支援計画を作成したということです。今後、この支援カードに記載されたことに対する支援を個々にどのように行っていくのかにつきましては、スクールカウンセラー等の専門家の助言もいただきながら、方針を決定することが多くなるかと思っています。ただ、人数が増加したり、支援内容が多様化してきたときに、学校としてどこまでできるのかが課題としてありますが、全体で取組んで行くべき内容と考えています。あとは、国の事業３年間の最終年ということで、報告書を作成することができました。人と育成の管理につきましては、お示ししている通りです。最後、地域連携のところですが、出前授業は継続して行うことができています。嬉しいニュースとしては、吹奏楽部が久しぶりに活動を再開しまして、軽音楽部とともに地域の行事に参加させていただいています。ここまでが、学校経営計画及び学校評価についてです。

（質疑応答）

委　　員：Ｐ７のインクルーシブ教育のさらなる発展のところで、授業のユニバーサルデザイン化を図るとは具体

的にはどういった内容なのかを教えていただきたいことと、今年度新たに個別の支援計画を作成した生

徒についてどのような生徒なのかを教えていただきたい。

校　　長：授業のユニバーサルデザイン化でいいますと、授業の中で１時間をどういうめあてで、どういう進み方でと、視覚化、構造化を図っているのが具体的なところです。今日は何をしますよ、今は全体のここまでやってますよとか、視界に入る黒板に余計な掲示物を貼らないとかは意識してやっています。

首　　席：授業だけではなく、教室の掲示物についても、どの教室に行っても同じ場所に同じもの、例えば時間割であるとかが貼っているなどの工夫はしています。

特別支援コーディネーター：中学校からも支援計画があがってきており、１学期から様子を見ていますが、全体指導はなかなか難し

いところもあります。

委　　員：研修も26回実施されて、非常に熱心だなと思いました。担任団も９月末までに決定ということで、計

画的にされているのだなと感じました。

　②平成28年度授業アンケート・学校教育自己診断アンケート結果について

　〇校長より

　　授業アンケートは、「授業展開」「生徒意識」については非常に数値が上がっており、引き続き来年度も維持し

　　ていきたいと考えています。

学校教育自己診断については、Ｐ８からＰ11まで生徒用、保護者用、教員用があります。Ｐ８の生徒用です

が、「学校へ行くのが楽しい」、「遅刻指導があるので、自分自身の遅刻が減っていると思う」、「自分の将来のことを考えると、頭髪・服装指導は必要だと思う」については若干値が下がっています。これは指導に対する生徒の評価ですが、その一方で「岬高校の先生は、自分が努力したことを認めてくれたり、ほめてくれたりする」や「岬高校ではいじめやそれに近いことが起こったときにきちんと対応してくれている」「担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる」の値は上がっています。そのことから先生に対する信頼度、肯定的な意見は増加しているとみています。Ｐ９の保護者用ですが、こちらの数値につきましては概ね昨年度の数値よりは上がっている状態です。「子どもは岬高校に行くことを楽しみにしている」と「授業参観や学校行事、ＰＴＡ活動の行事に参加したことがある」の数値については減少していますが、それ以外のものは全て増加しているという状況で、保護者からは肯定的な意見をいただいているのかと考えています。ご家庭と連携しながら教育を進めていけたらなと考えています。また、行事への参加も工夫して、促していけたらなと考えています。Ｐ10.11の教員については、複雑な結果になっていて、一定の傾向を読み取るのが困難に思えています。「わかる授業」への取組みについては値が減少しています。私が授業の見学をさせていただいて、先生方は授業の工夫や教材の研究はしていただいていることを感じますが、この質問に対する肯定的な回答は減少しています。おそらく、もっとしたいのにできないというとろこが、こういう評価になっているのではと考えています。一方でＩＣＴの活用や授業方法の検討の数値については増加しています。これと前者の値が相反している感じがあるので、一定の傾向を読み取るのが難しいと思っています。今年度はエンパワメントスクールのスタートの取組みが多かったので、そういったことも原因の背景にはあるのかと考えています。「校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている」「学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている」「学校運営に教職員の意見が反映されている」の数値が下がっています。これについては来年度何らかの改善が必要と考えています。原因の１つには今年度からは１年生と２，３年生の始業時間が異なり、職員朝礼に参加できる教員が少なくなり、十分な情報共有ができなかったことがあります。もう一つには生徒指導の事象について、臨機の対応となり、全体へ説明が事後になることが多く、先生方への不安感を取り除くことができなかったのかと考えています。それが大きく影響しているのではないかと考えています。先生方への情報提供をうまくするための方策を考えていく必要があると考えています。私からは以上です。

　③進路指導部より

　　まず、今年の就職状況についてです。１次の試験では応募者が85名のうち、男子30名、女子20名の計50名が合格しています。内定率は58.8％と昨年についで高い数値になっています。昨年度に続き、求人を多くいただけたことが大きかったのではと考えています。10月以降の２次の試験では応募者41名のうち内定者が20名となっています。資料では結果待ちが６名となっていますが、現在はうち３名が内定しています。昨年度に比べると２次での内定数が少ないと思います。例年では２，３回目で内定をもらってくる生徒が多くいましたが、今年は４，５回受けても内定をもらえない者が目立ちました。そういったところが大きく影響していると思います。続いて、求人状況についてです。全体の合計が438件求人をいただきまして、例年通りサービスや技能に関する求人が多く、事務は例年通り少ない結果となっています。進学の状況ですが、昨年に比べ大学に進学する生徒が大幅に減っています。大学に進学した数は５名、短期大学に進学した数は２名で、全員指定校推薦です。専門学校は40名です。進学予定者７名とありますが、そのうちの大半が看護系の学校をめざしています。看護系は合格をもらうのが難しいですが、最後の最後まで頑張っています。12月16日の時点で未定が74名いましたが、３月３日の時点では22名となっています。これはこの１ヶ月半で50名が決まったということではなくて、調査の時期の問題で、12月16日の時点で最終的な報告を進路では集計できていなかったからです。この時点では74名よりももっと少ない未定の数でしたが、把握できていなかったということでこのような数字になっています。現時点で22名が未定なのですが、そのうち学校紹介の就職を希望していて未定の者は５，６名います。引き続き進路でも支援して行きますが、最終的にはハローワークと連絡をとって引き継いでいく予定です。続いて、各学年で行った進路行事です。１年生のジョブチャレンジですが、これは今年から障害者手帳を持っている生徒にはできる限り受けてくださいと勧めています。９月と10月の行事は産業社会と人間の授業で行いました。２年生はほぼ例年通りですが、新しく入ったのは９月のジョブチャレンジです。これは職業見学会のようなもので、ＴＢＳの見学に行っています。また、毎週火曜日には進路担当の先生が進路チャレンジと称して、勉強会を行いました。

（質疑応答）

　　なし

　　生徒指導部より

　特別指導の延べ人数ですが今年は71名でした。昨年度は70名、一昨年度は53名です。登下校時、休み時間に先生方に通学路へ立ち番に行っていただいています。昨年度から校内の階段、スロープにも新たに行っていただき、遅刻しそうな者へ声かけを行うことで、遅刻者は減っています。また、喫煙者の発見も多くなり、先ほど報告した特別指導の件数の増加にもつながっています。１年間を通して立ち番を行うことで、問題行動の抑止にはなっていますが、立ち番のいない場所・時間については、国道の横断や地元の駅での喫煙等が依然としてあります。今後は集会やＨＲを通して、岬高校の生徒は社会からどう見られているのかしっかり意識させ、問題行動の未然防止と早期発見につなげていきたいと思っています。

（質疑応答）

委　　員：登校時も下校時も立ち番ご苦労様です。ありがとうございます。

委　　員：みさき公園駅の東口に立っていましたが、小学生、中学生はみんな挨拶が返ってきますが、高校生から

　　　　　は返ってきません。２，３人の時は返ってきたりしますが、大人数の時は返ってきません。

校　　長：大人数の時は挨拶することが恥ずかしいみたいです。

委　　員：これから社会に出て行くときには挨拶は大事なことなので。

　　総務部より

　　平成28年度ＰＴＡ事業報告を行います。４月には新会員入会式、５月ＰＴＡ総会がありました。ここでＰＴＡの役員さんが入れ代わり、新年度は大浦会長のもとスタートしました。一番最初の大きな行事が体育祭です。そこにはＰＴＡが競技に参加したり、競技の補助をしていただきました。同じ月に大きな行事として第１回第９地区ＰＴＡ協議会がありました。本校は今年幹事校としてあたっていました。ここではシッティングバレーでパラリンピックをめざしていた嵯峨根望さんに講演いただきました。また大浦会長のもと、各校の報告実践や年間事業概要を報告させてもらいました。９地区の方が約70名参加していただき、無事に終了することができました。７月にはＰＴＡスポーツ大会ということで、生徒と教員、保護者、後援会で夏休み前にバドミントン、ソフトバレー、卓球を行いました。次に、ＰＴＡ公開講座です。これは本校情報科に協力いただき、パソコンに関する講座を行っています。施設を開放して、地域、保護者の方、約30名程度に来ていただいています。８月には全国高等学校ＰＴＡ連合会大会が千葉県でありました。会長と役員１名で参加していただいています。９月には面接指導協力として、進路指導部が面接練習を行う所にＰＴＡに面接官として参加していただいています。11月の文化祭ではＰＴＡにはバザーをしていただき、公開講座では地域の方が参加できる形に変更し、岬町の消防署にご協力いただき、救急救命講習を行いました。12月には第２回ＰＴＡスポーツ大会、１月には第２回９地区ＰＴＡ協議会がありました。ＰＴＡ協議会ではセクシャルマイノリティの女子プロボクサーの真道ゴーさんに講演いただき、11校のＰＴＡから各校の報告をしていただきました。２月には耐寒マラソン大会、炊き出しは前日から豚汁の準備をしていただきました。生徒にも好評でした。基本的にこのように学校行事と密接にＰＴＡの方で関わっておりまして、生徒に還元する、生徒のために動くということと、今年はそれに加えて、９地区、大阪府のまとまりに精力的に参加しました。

（質疑応答）

委　　員：ＰＴＡさんも熱心に関わっていただいているんですね。耐寒マラソンはどこでされているのですか。

委　　員：里海公園です。

　　国際交流委員会より

　　台湾研修を行いましたので、その報告をさせていただきます。事前研修ということで、９月に希望生徒を募集し、選考の上、６人の生徒の中から２年生女子３人が選ばれました。10月より計14回の事前研修を行いました。毎週木曜日にはＡＬＴのレイア先生による英会話の研修、毎週金曜日は国際交流委員会の先生方による台湾の歴史や文化などを学ぶ研修を行いました。その後、昨年の12月14日から17日までの日程で台湾研修に行ってきました。生徒３名、大浦ＰＴＡ会長、引率教員２名の計６名で行ってきました。台湾の交流相手校である基隆女子高級中との交流があったり、「千と千尋の神隠し」の舞台となった「九份」を観光したり、いろいろ研修を行ってきました。参加生徒の感想としては、Ａさんは「異文化交流の経験を活かし、将来は世界を飛び回る通訳の仕事に就きたいと思いました。」Ｂさんは「ちゃんと自分の意思を伝え、相手の意思を理解するためにも英語をもっと勉強しよう、そしてもっと多くの人と英語で会話をしたいと思った。」Ｃさんは「今後、台湾研修にいく後輩たちにも、ぜひたくさんの経験を通し多くを学んできてほしい。とてもよい経験をしたと考えている。」と書いてくれました。今年は報告研修ということで、学年集会にて１，２年生にどういった研修であったかを体育館で発表しました。発表で使用するパワーポントや読む内容も全て生徒たちが考えて作成、準備をしました。本人たちはすごい達成感で、充実した様子でした。これから来年も再来年も続いていく行事で、後輩たちも参加したいと思える行事になればと考えています。

（質疑応答）

教　　頭：大浦会長、補足ございましたらお願いします。

委　　員：参加させていただいて、台湾の公共のバスに乗せていただいたのですが、お年寄りの方が乗ってこられると、若い方はその方に席を譲られていました。そういったことを生徒たちは目の当たりにしたり、切符の買い方等、勉強になったと思います。私自身も改めて勉強させていただき、良い経験になりました。

委　　員：事後に生徒のみなさんに伝えることは良いことですね。

　　山海人委員会より

　　大きく２点お話をさせていただきます。先ほど校長からもありましたように、参加した生徒の肯定的意見が７割とありましたが、補足しながら活動を振り返りたいと思います。もう一つは今後の活動について、ご説明させていただきます。事後アンケートの生徒の肯定的意見７割は各学年による差はそれほどありません。例年、参加率が低いことが課題です。今年度の１年生は58.9％、２年生は47.4％、３年生は42.1％でした。参加者の肯定的意見は高いのですが、参加率が低いので、参加してもらうための工夫が今後の課題となっています。また、教員の取り組みも年々充実してきています。続きまして、もう一点の今後の活動について報告させていただきます。有志生徒の活動については今年度は雨天中止もありましたが、こちらの活動を今後どうしていくかが課題の１つです。２つめに、この４月から第二阪和国道が全通することで、今までご協力いただいていた国道事務所の方などの協力体制が減りますので、地域の方との協力が必要になってきます。最後に、学校経営計画にあります「山海人プロジェクトの教育課程への関連付けを検討する」ということで、４月から私が２年生の選択科目にある自己表現Ⅰという授業で山海人活動をトライします。

（質疑応答）

委　　員：さつまいもは失敗しましたね。

山海人委員長：見先様にもご協力いただき、有志活動を行いました。休耕田を活用し、鳴門金時を100個以上収穫することができました。広報活動については、岬町への宣伝活動などは今後の課題と認識しています。

委　　員：海洋ではわかめを育てていますが、今年はあまり育ちが良くないですね。

　　特別支援コーディネーターより

　　高校生活支援カードにつきましては、今年度回収率100％でした。その内容については中学校からの聞き取り情報と共に確認できるようにデータをまとめました。その結果何かあれば活用できるような状況にあります。「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」の取組みについては、高等学校には通級指導がありませんので、それの研究対象校として、今年度は最終年となりますが、研究を行っていました。対象生徒の３年男子は、１年生のときから取組んでいる生徒です。もう一人の３年女子は今年度から参加することになりました。２名とも情報コースの「課題研究」２単位を「サポート岬２」という通級の単位に設定しまして、日常生活の動作の習得等について指導を行いました。自分自身のことを見ることができる、考えることができるようになったということが大きな成果だと思います。男子生徒の方はヒューマンライツフォーラムという人権活動に出て、発表を行ったことは本人の自信にもつながっていますし、成果もあったと思います。進路につきましては、２名とも自分の希望通りのところに進学できました。今後は本人たちがこの学校にきちんと通うことができるのか等が心配に思いますが、そういったことも次の学校につないでいけたらなと考えています。

（質疑応答）

委　　員：研修も熱心にされますし、子どもたちも多様化していますので、研修も含めて対応していただければと思います。

校　　長：補足ですけども、文部科学省の方はこの通級指導を導入しようということで計画されておりまして、国の事業を受けた学校が多くの場合、その指定を受けて、通級指導を導入していくことになるんですが、生憎、岬高校は大阪の中心部から離れたところにあって、他から通ってくる生徒にとっては不便ということで、大阪府で通級指導に指定される学校はもう少し大阪市内に近いところになるかと思います。ただ、通級指導をしない場合でも、自立活動は意識しながら生徒指導にあたるということは必要ということを学ぶことができました。

委　　員：支援学級に入級する子どもたちについては、それはそれなりに対応はしますが、そうでなくて教室で困っている子どもたちはたくさんいますので、中学校でもその子たちをどうするかが支援教育コーディネーター中心にいろいろ考えて、通級指導を受けさせるか、あるいはその他の対応をするということになっています。ますます、コーディネーターの役割も大きくなるかなと思います。教室での困り感を先生方が見つけて対応していかなくてはいけないと思います。

３．【協議事項】（見先協議会長の司会進行）

　①授業アンケート・学校教育自己診断アンケートの結果を受けて

（質疑応答）

委　　員：岬高校以外にもエンパワメントスクールができましたが、学校間での情報共有や情報交換について、どのようなことを行っているのか教えてください。

首　　席：他校との交流につきましては、国、数、英、社、理の５科目の基礎科目の担当者は情報交換を行っていますし、エンパワメントタイムにつきましても、お互いの学校の授業見学を年間５回ほど行いました。

委　　員：台湾との交流はよく分かりましたが、オーストラリアとの高校とのテレビ会議の内容について教えてください。

国際交流委員長：英語科の教員でオーストラリアの高校と関係がある者がいまして、双方の高校の生徒がパソコン・タブレットで顔を見ながら、英語で自己紹介やお互いの国のことなどについて伝え、コミュニケーションをとるといった内容です。

委　　員：学校教育自己診断アンケートの生徒用の「担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」の値が伸びています。先生方のカウンセリングマインドがいいんだと思います。子どもが安心して学校生活を送れているのかと思います。

教　　頭：武本先生、保健室の状況をお教えいただけたらと思いますが。

指導養護教諭：たくさん相談に来ていただいています。岬中学校さんはじめ子どもたちと先生方が寄り添っているのが地域に根付いているところもありますし、９地区のもともとの生徒というのは人好きで、人懐っこい子たちが多くて、10年近く変わらないところかなと思います。ただ、全体的に幼くなっているところは感じます。中学校の方はいかがですか。

委　　員：本当に素朴な子どもたちが多くて、いい意味でちょっと幼いところはあるかなと思います。

指導養護教諭：生徒指導はじめ、いろんな先生方が廊下に立ったりしているので、生徒たちが声をかけやすい雰囲気作りは岬高校のいいところかなと思います。

教　　頭：外から見ていましても、全生徒の担任を武本先生がされているように感じます。安全、安心の要になっていただいています。我々には言わないことを武本先生には話すこともあります。

委　　員：保護者からは何か無いですか。

委　　員：前回の協議会で電話対応について言わせていただいたのですが、早急に対応していただいて、ＰＴＡの方でも電話をかけやすくなったということもあって、先生に気軽に相談できるといった意見が多いのもそういったことかなと思います。対応ありがとうございます。

委　　員：保護者用のアンケートが50％以上回答があり、よく提出されていると思います。

委　　員：他に無いようでしたら、そろそろ終わりたいと思います。

教　　頭：本日いただきました意見を参考にさせていただいて、さらに教育が発展するように教職員努力してまいります。平成29年度の予定に関してでございますが、委員の皆様におかれましては、任期中ということでございますので、29年度もぜひ岬高校を支えていただきたいと思っております。会長様に関しましては新会長が決定しだい、交代ということになっていますので、ご了承ください。よろしくお願いします。

校　　長：よろしくお願いします。

教　　頭：新年度の開催日時に関しましては、この要綱に載せています日時に開催しようと思っています。詳しく決まりましたら、連絡させていただきます。ではこれをもちまして、終了させていただきます。ありがとうございました。

校　　長：ありがとうございました。